

# 学校2020レガシー

区市町村立学校

番号	地区名	学校名	課程等	取組名	内容	身に付く資質等				
						ボ	障	ス	日	国
1802	国分寺市	第一小学校		障害について知ろう	アイマスクやガイドヘルプ体験、手話を用いた歌などを通して、より障害者理解を深める。巡回指導教員による積極的な推進授業の実施。		○			
1803	国分寺市	第二小学校		みんなで一緒に	障害理解学習を全学年で実施すると共に、特別支援学級と通常の学級との交流活動を計画的に行い、児童同士の主体的な交流をより一層深める。		○			
1804	国分寺市	第三小学校		「昔遊び交流」	昔遊びを通して日本の伝統文化について学び、異学年の児童と交流活動を実施				○	
1805	国分寺市	第四小学校		なわとび旬間	全校で学期に1度2週間、休み時間を活用してなわとびに取り組む。なわとびカードにある技を1つずつチャレンジし、カードをすすめていく。			○		
1806	国分寺市	第五小学校		福祉体験プログラム	ゲストティーチャーを招聘し、視覚障害、肢体不自由など身体の不自由さを体験。人とのかわり方について考える。		○	○		
1807	国分寺市	第六小学校		大縄週間	全校で大縄週間を設定し、休み時間等を活用して、学級全員で大縄を実施			○		
1808	国分寺市	第七小学校		障害者理解教育	特別支援学級の教員が年度当初に理解教育を行い、子供たちが障害について考えていく。年間を通じて、交流していくことで児童の理解を深めていく。		○			
1809	国分寺市	第八小学校		バラスポーツ交流会	ブライントennisのアスリートとの交流（講演・実演・対話等）を通して、障害者理解を推進する。		○			
1810	国分寺市	第九小学校		リズムサークル	障害の有無や個人の特性にとらわれず、それぞれの持ち味をいかして、音を出し、リズムセッションを楽しむ活動を実施		○			
1811	国分寺市	第十小学校		能、狂言のゲストティーチャーによる授業	国語科「日本文化を発信しよう」では、能、狂言のゲストティーチャーを招き、実演や伝統芸能の良さを伝えてもらう交流活動を実施				○	
1812	国分寺市	第一中学校		バラスポーツ体験	各学年でそれぞれ違うバラスポーツを体験する。		○	○		
1813	国分寺市	第二中学校		行事での特別支援学級との交流	運動会で、交流競技を実施。特別支援学級のダンス発表に合わせて吹奏楽部の演奏を交えて発表会を実施。		○			
1814	国分寺市	第三中学校		国際交流会	留学生との交流を通して、様々な国の文化や言葉等に触れ「おもてなし」の心を学ぶと共に、外国についての興味・関心をもたせ、ボランティアに対する意識も高めていく。					○
1815	国分寺市	第四中学校		バラスポーツ交流活動	ポッチャやブラインドサッカー、ゴールボールなど、体育の時間等を使い、パラ競技を実施する。		○	○		
1816	国分寺市	第五中学校		ふるさとの集い・高齢者訪問	国分寺市青少年育成北地区委員会が主催する地域行事に、近隣の小学校児童と本校の生徒会本部役員、吹奏楽部、有志等がボランティアで参加して交流活動を実施する。また、高齢者施設や個人宅を訪問して手紙を読んだり演奏を行ったりする。	○				

ボ・・・ボランティアマインド  
 障・・・障害者理解  
 ス・・・スポーツ志向  
 日・・・日本人としての自覚と誇り  
 国・・・豊かな国際感覚